



ねえ、パパ、
ママはどこに
いつちやったの？

ママはね、
アーカイブ星に
行ってるんだよ。
でも、きつとまた会えるよ。

いま、会いにゆきます

竹内結子 中村獅童

武井 証 浅利陽介 平岡祐太 大塚もひろ / 中村嘉律雄 / 市川実日子 YOU 松尾スズキ 小日向文世

監督: 土井裕泰 / 原作: 市川拓司 (小学館刊) / 脚本: 岡田恵和 / 主題歌: ORANGE RANGE (Sony Music Records/gr8records)

製作: 近藤邦勝 / 製作統括: 島谷能成・奇藤 薫・安永義郎・亀井 修・細野義朗・伊東雄三 / 企画: 濱名一哉 / 企画協力: 那須田淳 / エグゼクティブ・プロデューサー: 本間英行 / プロデューサー: 市川 南・春名 慶・堀口 慎
撮影: 柴主高秀 / 美術: 種田陽平 / 録音: 鶴巻 仁 / 照明: 上田なりゆき / 編集: 三條知生 / キャスティング: 田中忠雄 / 助監督: 猪俣弘之 / 製作担当者: 武石宏登 / 音楽: 松谷 卓
製作: 「いま、会いにゆきます」製作委員会 (TBS / 東宝 / 博報堂DYメディアパートナーズ / 小学館 / S-D-P / MBS) / 東宝映画作品 / 配給: 東宝 ©2004 「いま、会いにゆきます」製作委員会 西暦 11

www.ima-ai.com (携帯からもアクセスできます) / 期間限定携帯コミュニティサイトは ima-ai.jp



雨とともに訪れた
6週間の奇蹟



優しい雨のように、その愛は心に降りつつける

いま、全国書店の皆さんが熱く推薦している一冊の本があります。妻を亡くした夫とその息子に訪れたつかの間の奇蹟を描いたその本は、男女問わずあらゆる年齢層の人々の涙を誘っています。その本のタイトルは、『いま、会いにゆきます』。この秋、新たな感動の純愛物語が映画化されます。『いま、会いにゆきます』において描かれているのは、ただシンプルに「愛している」ということ。そこには、男女のいとおいしいまでの愛、母と息子の、そして父と息子の温かな家族の愛が息づいています。

妻に先立たれながらも6歳の息子・佑司(武井 証)と二人で何とか幸せに暮らしている秋穂巧(中村獅童)。そんな巧たちの前に、彼らを残して一年前に逝ったはずの妻・澪(竹内結子)が梅雨のはしりのある雨の日に見える。ただ彼女は一切の記憶を失っていた。しかし、巧と佑司はそんな澪を優しく迎え入れ、三人のちょっと不思議な共同生活が再び始まる。記憶の戻らない妻に、自分たちの恋の歴史を語って聞かせる夫・巧。やがて、ふたりは「二度目」の恋に落ちることになる。そして、佑司は「二度目」の母との生活に抑えようのない喜びを感じる。しかし、六週間後、雨の季節が終わりを告げるのと同時に、澪は再び巧たちの前から去っていく運命にあった。——ただ最後に、澪は巧と佑司の心に生涯消えることのないある宝物を残していくことになる…

雨とともに現れる妻・澪を演じるのは竹内結子、その澪を不器用ながらも優しく迎える夫・巧を演じるのは中村獅童。そして、物語の鍵となる二人の息子・佑司を演じるのは『丹下左膳 百万両の壺』でその瑞々しい演技が絶賛された小学1年生の武井証。

監督はドラマ『オレンジデイズ』『GOOD LUCK!!』『ビューティフルライフ』などを手掛けた恋愛ドラマの名手・土井裕泰。また、主題歌は沖縄出身の超人気バンドORANGE RANGEが担当。映画に感銘を受けたメンバーがそれぞれの想いを込めて書き下ろした初のバラードを奏でます。

そばにいただけでいいと思える相手にめぐりあい、その人へとまっすぐな愛情を捧げる。何気ない日常のなかで、ゆっくりとお互いの存在を感じる。そして、その幸せに感謝する。「おはよう」「いってらっしゃい」「おいしいね」「おやすみ」…何百回と繰り返される、そんな言葉たちにこそ宿るかけがえない愛。それらは、真実の愛であるがゆえに、観る人々の心を揺さぶり、胸の中から感動の雫を溢れさせます。

そして物語のラストでは、観るものは「いま、会いにゆきます」というタイトルの意味を知ることとなり、さらなる感動と温かな余韻に導かれてゆくのです。

きっと、あなたも好きな人に会いにゆきたくくなります。



心に滴る
せつないキセキ

